## 文 学 部 哲 学 科

1. 免許法施行規則第66条の6に定められた科目一覧

○必修 ◎選択必修

分 野	科目名	区分	配当 年次	単位数	中学校 一 種	高等学校 一 種	備考
	日本国憲法	社会科学基礎科目	12	2	0	0	)
日本国憲法	憲法 1	専門科目	23	2	0	0	2単位選択必修
	憲法2	専門科目	23	2	0	0	J
体 育	スポーツリテラシー	保健体育基礎科目	1	1	0	0	
149   月	スポーツウェルネス	保健体育基礎科目	1	1	0	0	
	Basics of English(SW)1a	外国語科目	1	1	0	0	
	Basics of English(SW)1b	外国語科目	1	1	0	0	
   外国語	Intermediate English(SW)1a	外国語科目	1	1	0	0	
コミュニケーション	Intermediate English(SW)1b	外国語科目	1	1	0	0	2単位選択必修
1(1-1)-737	General English	外国語科目	234	1	0	0	
	English Speaking a	外国語科目	1234	1	0	0	
	English Speaking b	外国語科目	1234	1	0	0	J
数理、データ 活用及び人工 知能に関する	情報入門 1	情報リテラシー科目	1	2	0	0	
和能に関する 科目又は情報 機器の操作	情報入門2	情報リテラシー科目	1	2	0	0	

## 2. 教科及び教職に関する科目一覧

(1) 教職に関する科目:「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」

○必修 ◎選択必修 △選択

配 当 年 次		科 目 名	単位数	中学校 一 種	高等学校 一 種	備考
		教育原論	2	0	0	
1 年次		教職入門	2	0	0	
1 + 4		公教育制度論	2	0	0	
		特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	0	0	
	•	心身の発達と学習の過程	2	0	0	
2年次		教育課程論	2	0	0	
		教育方法論 (情報通信技術の活用を含む)	2	0	0	
		教育相談の理論と方法	2	0	0	
		特別支援教育論	2	0	0	
3年次	•	道徳の理論と指導法	2	0	Δ	高等学校一種免許状の取得を希望する者が単位を修得した場合は「大学が独自に設定する科目」 として認められる。
		生徒・進路指導論	2	0	0	
		教育実習 1	1	0	0	
		教育実習2	2		0	
4年次		教育実習3	4	0	0	注2
		教職実践演習(中・高)	2	0	0	
		必 要 単 位 数	·	29 単位	25 単位	

注1: 高等学校一種免許状のみ取得する場合は、教育実習を 10 日以上 (2 週間) 行い、教育実習2 (2 単位) を履修することになるが、教育実習を 15 日以上 (3 週間) 行う場合は、教育実習3 (4 単位) を履修することができる。

注2: 高等学校一種免許状の取得を希望する者が、教育実習3の単位を修得した場合、4単位のうち2単位が「大学が独自に 設定する科目」として認められる。

注3: 科目名の前に●印が付されている科目は、単位を修得した場合でも自由選択修得要件単位(卒業要件単位)としては認められない。

## (2)「教科及び教科の指導法に関する科目」「大学が独自に設定する科目」

文学部哲学科

				257	23.E	n .,	116 111			種社会		L 224 LV X.L	_		学校・				14. TE		等学校· 新宁			,
		開設科目	設	配业	単	古外	地地理誌	法 位 注 治	社経会	哲宗・	育 教導 科法	大学が独 自に設定 する科目	日本史	外国	人 文 地 地	地	合 類 科 法	大学が独 自に設定 する科目	法 位 律 治	社経会	哲宗・・・	合 類 科 法	大学が独自に設定	備者
_		口士中。	置数	当	<u>位</u> 2	1	字字	字字	字字	倫	0	する科目		更	理理	誌	0	する科目	字字	字字	備心	0	する科目	
	H-	日本史 a	教	1		0							0											
	•	日本史 b	教	1	2	0							0						_					_
		外国史 a	教	2	2	0								0										
		外国史 b	教	2	2	0								0										
		日本思想史 1		123	2	$\triangle$							Δ											
		日本思想史2		123	2	Δ							Δ											
		西洋哲学史(古代)		123	2	Δ								Δ										
		西洋哲学史(中世)		123	2	Δ								Δ										
	$\vdash$	西洋哲学史(近代) 1		123	2	Δ	_							Δ						_				$\vdash$
						1								_										
	$\vdash$	西洋哲学史(近代)2		123	2	<u> </u>								Δ										_
	L	西洋哲学史(現代) 1		123	2	Δ								Δ										
		西洋哲学史(現代)2		123	2	Δ								Δ										
教		中国思想史		123	2	$\triangle$								$\triangle$										
		インド思想史		123	2	Δ								Δ										
科	•	地理学 a	教	1	2		0								Δ									
	•	地理学b	教	1	2		0								Δ									
に	F	地誌学a	教	2	2	$\vdash$	0				$\vdash$				-	0								
	_					$\vdash$	_				$\vdash$				$\vdash$				$\vdash$	<del></del>				$\vdash$
関	•	地誌学b	教	2	2	-	0									0			$\vdash$	-	-			-
.~	•	人文地理学概論 a	教	12	2	-	Δ				$\vdash$				0									_
す	•	人文地理学概論 b	教	12	2	<u> </u>	Δ								0				$\vdash$					
9	•	自然地理学概論 a	教	12	2		Δ								0									
7		自然地理学概論 b	教	12	2		Δ				L I	7			0	]				L				
る		法律学 a	教	2	2			0											0					
		法律学b	教	2	2			0											0					
専	ř	社会学原論 1	32	12	2				0											0				
	$\vdash$						_																	_
門	-	社会学原論2		12	2	-			0											0				_
		現代文化論 1		234	2				Δ											Δ				
的		現代文化論2		234	2				Δ											Δ				
		家族の社会学 1		234	2				Δ											Δ				
事		家族の社会学2		234	2				Δ											Δ				
-		哲学概論 1		12	2					0											0			1
項		哲学概論2		12	2					0											0			注
-74		倫理学概論 1		12	2					0											0			ń
		倫理学概論2		12	2					0											0			} 注
	$\vdash$						_												$\vdash$		_			ļ
		宗教学 1		1234	2	_				0											0			注
		宗教学2		1234	2					0											0			J
		論理学概論 1		12	2					Δ											Δ			
		論理学概論2		12	2					Δ											$\triangle$			
		日本の思想 (近現代以前)		234	2					Δ											Δ			
	$\vdash$	近現代の日本の思想		234	2					Δ					М						Δ			
		哲学特殊講義 1		234	2	$\vdash$					$\vdash$				$\vdash$						Δ			
	$\vdash$			234	2	1	-			Δ	$\vdash$				$\vdash$						Δ			
	$\vdash$	哲学特殊講義 2				-	-				$\vdash$				$\vdash$				$\vdash$	-				_
	$\vdash$	哲学特殊講義3		234	2	-	-			Δ	$\vdash$										Δ			
	_	哲学特殊講義 4		234	2					Δ					$\square$				$oxed{oxed}$		Δ			
各数	•	社会科・地歴科教育法 1	教	3	2						0						0							
各教科の指導法		社会科・地歴科教育法2	教	3	2	L	L			_ 1	0	]			L 1	1	0		LĪ	L				L
指		社会科・公民科教育法 1	教	3	2						0											0		
導法	-	社会科・公民科教育法2		3	2						0											0		
Щ	Ť	学校経営と学校図書館	_	1234	2		_				_				$\vdash$			<b>A</b>	$\vdash$			_	<b>A</b>	-
き	$\vdash$	学校図書館メディアの構成			2		<del></del>				$\vdash$				$\vdash$			<b>A</b>		<del></del>			_	
、設 全定	$\vdash$					-	-				$\vdash$				$\vdash$					-				_
がす	$\vdash$	学習指導と学校図書館	司教	-	2	-						<u> </u>			$\vdash$								<u> </u>	_
まる	_	読書と豊かな人間性	司教		2	<u> </u>					$\sqcup$	<u> </u>						<u> </u>						
科		情報メディアの活用	司教	234	2							<b>A</b>						<b>A</b>					<b>A</b>	
目		道徳の理論と指導法	教	3	2						L I				L l	]		<b>A</b>	L Ì				•	
	Г	教職実践入門	教	2	2							<b>A</b>						<b>A</b>					<b>A</b>	
	_	必	修			8	8	4	4		8		4	4	8	4	4		4	4		4		
		選択必	修			Ť	بّ	<u> </u>		4	<u> </u>				<u> </u>		<u> </u>		Ė	<u> </u>	4	Ė		
							-			-	$\vdash$								∧ 1:	1日~ ·				
		選	択																	*日かり	ら8単 と			
						1							残り	10 畄	位はん	∖▲科	日か	 ら修得す				$\bigcirc$	科目か	
		_											【残り 10 単位は△▲科目から修得すること						残り 10 単位は ◎ △ ▲科目か     ら修得すること					
		そ の	他												122 10-2		1 17	212197				<b>⊕</b> △ <b>4</b>	-11 д //	

注1: 哲学概論1・2は、1と2の2科目4単位を修得した場合に、選択必修の4単位として認められる。なお、1または2のどちらか1科目2単位しか修得しなかった場合、その単位は選択またはその他の単位として認められる。
注2: 倫理学概論1・2は、1と2の2科目4単位を修得した場合に、選択必修の4単位として認められる。なお、1または2のどちらか1科目2単位しか修得しなかった場合、その単位は選択またはその他の単位として認められる。
注3: 宗教学1・2は、1と2の2科目4単位を修得した場合に、選択必修の4単位として認められる。なお、1または2のどちらか1科目2単位しか修得しなかった場合、その単位は選択またはその他の単位として認められる。
注4: 開設科目の前に●印が付されている科目は、単位を修得した場合でも自由選択修得要件単位(卒業要件単位)としては認められない。